

# 平成 29 年度乗務員教育プログラム

- 
- 4 月
1. 春の交通安全運動の実施について
  2. 事業用自動車の運転する場合の心構え
    - ① バス事業の公共性と重要性
    - ② バス事故の社会的影響
    - ③ 安全運転の心構え
  3. 非常時の対処方法（消火器、信号用具の使用方法を学ぶ）
- 
- 5 月
1. 事業用自動車の安全、乗客の安全を確保するために遵守すべきこと
    - ① バス運行に係る法令
    - ② 義務を果たさない場合の影響の把握
  2. クールビズについて
- 
- 6 月
1. 事業用自動車の構造上の特性
    - ① バスの特性に合わせた運転
    - ② 多様化する車両に合わせた運転
  2. ドライブレコーダー動画研究会
  3. 梅雨時期の安全運行
- 
- 7 月
1. 乗車中の乗客の安全を確保するために留意すべき事項
    - ① 運転マナー
    - ② シートベルト着用の案内の徹底
  2. 車両の点検整備について（整備管理者をめざそう）
- 
- 8 月
1. 乗客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項
    - ① 乗降時の乗客の安全確保
    - ② 高齢者・障害者の乗降時の安全確保
  2. 労働基準法の基礎学習
- 
- 9 月
1. 秋の交通安全運動の実施について
  2. 運行路線・経路における道路及び交通の状況
    - ① 運行路線・経路における道路・交通情報の把握
    - ② 情報に基づく安全運行のための留意点
  3. ドライブレコーダー動画研究会
  4. 異常気象時の運転（台風シーズンを前に）
- 
- 10 月
1. 危険の予測及び回避
    - ① 危険予測運転の必要性
    - ② 危険予測のポイント
    - ③ 危険予知訓練
  2. 旅客の乗降時における安全の確保（マニュアルを改善してみましよう）
- 
- 11 月
1. 運転者の運転適性に応じた安全運転
    - ① 適正診断の必要性
    - ② 適正診断結果の活用方法
  2. 異常気象時における対処法
  3. ドライブレコーダー動画研究会（ヒヤリ・ハット学習）
- 
- 12 月
1. 年末年始の輸送に関する安全総点検の実施について
  2. 冬期チェーン講習
  3. 交通事故に関わる運転者の生理的及び必要的要因とこれらへの対処方法
    - ① 交通事故の生理的・心理的要因
    - ② 過労運転防止のための留意点
    - ③ 飲酒運転防止のための留意点
  4. 危険予測運転
- 
- 1 月
1. バスジャック統一对応マニュアルについて
  2. 車両火災等緊急時における統一マニュアルについて
  3. 冬期安全運転 6 則について
  4. 自分の運転のクセを知って安全に走る
- 
- 2 月
1. 接客する者としての心構え
    - ① 基本動作
    - ② 基本業務確認
  2. 非常用信号用具、非常口、消火器の取り扱い
  3. ドライブレコーダー動画研究会
- 
- 3 月
1. 健康管理の重要性
    - ① 健康起因の事故と健康管理の必要性
    - ② 健康管理のポイント
  2. 交通事故に関わる運転者の生理的および心理的要因およびこれらへの対処方法
    - ① 過労状態が生み出す危険性
    - ② あせる気持ちが作り出す事故
-